

(6) 地域における子育て支援

保育所がもっている保育の知識と経験を、園で行なう遊ぼう会などを通して、「子どもとの遊び方」、「子どもの育て方」、「育児相談」などを、地域の子育て家庭に発信していきます。子どもも親も社会から守られていく中で子育てをするという考え方を基本にして、保育所は地域と連携し、親が主体的に子育てできるように支援をします。

人権保育の視点

- ・ 子育て家庭が気楽に立ち寄れる雰囲気を大切に、親が子どもの成長を喜び、楽しみにできるようにする。
- ・ 子育てについての話し合いの場や困っている事を話し合う場を作る中で、親同士をつなげていけるよう手助けする。
- ・ 子どもたちには、人として守られる権利があることを共に考え、伝える。

具体的な対応

- ・ 親子が日常的に遊べ、親同士が知り合いになり相談できる場所を提供し、親自身に問題を解決していく力が育っていくようにする。
- ・ 地域の保育ボランティア等の活用を行い、親自身がゆっくりできる時間を提供する。
- ・ 地域で開催される子育て講座へ職員を派遣するなど、必要な人材提供を行う。
- ・ 保育所では、子どもの人権や親自身の人権に関する、より具体的な情報・知識を子育て家庭に発信していく。
- ・ 積極的に地域に働きかけ、必要な情報を集めるようにするとともに、保育所からの情報も発信していく。

園での遊ぼう会

主任児童委員も含めた遊ぼう会

- ・ 保育所の保育室で、親子でクリスマス会に参加します。地域の主任児童委員さんも保育ボランティアとして参加してもらい、全体の遊びを見ながら、「地域の人とうまく付き合えない」などの問題を抱えている人に、話し相手になりながら問題解決につきあうようにします。
- ・ 「成長に不安を感じている親子」には地域担当の保健師に連絡していくなど、地域全体での子育て支援を行う体制になっています。



地域の町内会長さんがサンタに扮して子どもたちにプレゼントを配りました。



主任児童委員さんのご挨拶・・・地域の未就学の親と顔見知りになります。

当日はたくさんの参加者も一緒に楽器遊びをしました。



子どもの人権に関する紙芝居を親子で見えています。お父さんも参加しています。



地域子育て支援センターの取り組み

現在、市内で開設されている地域子育て支援センターでは、子育て情報の発信、育児相談、行事への参加など親子での遊びの他、親同士の交流の機会となっています。毎週決まった曜日、決まった場所で行われるため、センターの職員が子どもの成長を子育て家庭と連携して見守っていける利点があり、子育て家庭にとって安心できる場所として、将来的に拡大していく取り組みです。

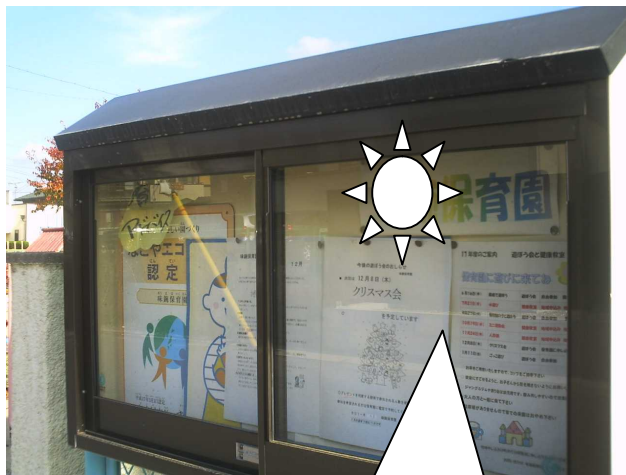
毎回来ている子どもたちとは顔見知りになります。発達心配など、継続的に話すことができ、親にとっては安心できる居場所になっています。



地域の民生委員さんも子育て講座に参加してください。地域と保育園が一体になり、子育てを応援します。

地域の人が気軽に立ち寄れる工夫として

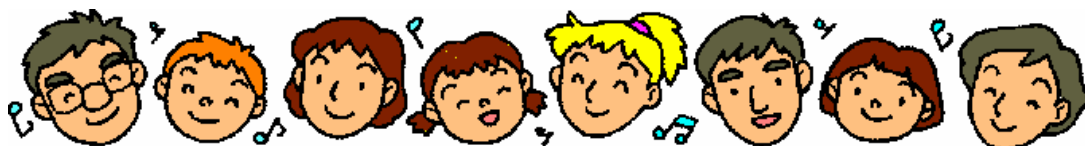
子育て情報市民向け看板



遊ぼう会のチラシには
子育てアドバイスもついていて、
希望者には配布しています。



地域にアピールしていく第一歩は、何気ない
看板から・・・
気軽に保育所を訪ねてくださる親子の姿も
あります。



遊ぼう会に来た方が
子育て相談をしています。



音楽会に地域の親子も参加し、気持ちの
リフレッシュをはかります。

